

事項	観賞用橙色葉水稻品種「青系観177号」の特性		
ねらい	新たな葉色の観賞用水稻として、葉が橙色の品種を育成したので、その特性を指導上の参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 主要特性の概要（「つがるロマン」対比）</p> <p>(1) 形態的特性</p> <p>ア 移植時の苗丈は短く、葉色は緑色が極淡く、葉身の端が赤紫色又は赤銅色を呈する。</p> <p>イ 生育の初期は草丈が短く、茎数は極少なく、葉色は新葉は黄緑色で次第に葉先から紫色がかすり状に入り赤紫色が広がる。</p> <p>ウ 生育中期以降になると、葉身基部は黄緑色で葉身は赤紫色又は赤銅色で葉先ほど色が濃い。</p> <p>エ 出穂期頃から成熟期にかけては、葉先から葉身基部にかけて赤紫色から淡緑色のグラデーションで全体に橙色に見える。</p> <p>オ 稈長は極短く、穂長も短く、穂数は少なく、極短稈中間型の粳種である。</p> <p>カ 稈は硬く、耐倒伏性は「強」である。</p> <p>キ 粃及び玄米千粒重は軽い。</p> <p>(2) 生態的特性</p> <p>ア 出穂期、成熟期は20日程度遅い「晩生」に属する。</p> <p>イ 障害型耐冷性は「極弱」である。</p> <p>ウ いもち病真性抵抗性遺伝子型は「+」と推定され、圃場抵抗性は葉いもちは「やや弱」、穂いもちは不明である。</p> <p>エ 穂発芽性は「やや難」である。</p> <p>2 観賞用・景観用としての特性</p> <p>(1) 葉色が赤紫色から淡緑色のグラデーションで全体的には橙色に見えることから、観賞用・景観用に向き、田んぼアート等では橙色として利用することが出来る。</p> <p>(2) 葉の橙色の見頃は、最高分けつ期から成熟期頃である。</p> <p>3 栽培上の留意事項</p> <p>(1) 播種量は、千粒重が軽い為、中苗の場合55g/箱程度とする。</p> <p>(2) いもち病抵抗性は弱いので、基本防除を徹底する。</p>		
期待される効果	田んぼアート等の図柄の配色が拡大される。		
利用上の注意事項	種子の配付は、青森県産業技術センターホームページ上で、価格、配付条件等を公開し行う。		
問い合わせ先(電話番号)	農林総合研究所 水稻品種開発部 (0172-52-4312)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成21年度 水稻新配付系統成績書 平成21年度 試験成績概要集 (農林総合研究所)		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「青系観177号」の特性一覧表

(平成21～24年 青森農林総研)

組合せ	黄色稻/短稈紫稻		
調査地	水稻品種開発部 (黒石市)		
品種名	青系観177号	つがるロマン (基準)	べにあそび (比較)
形質			
早晚性 草型	晩生 極短稈 中間型	中生中 中短稈 偏穂重型	晩生 極短稈 中間型
出穂期(月.日)	8.25	8.5	8.10
成熟期(月.日)	10.9	9.18	9.30
稈長(cm)	61.0	85.8	60.7
穂長(cm)	13.0	18.6	18.9
穂数(本/m ²)	286	381	352
葉色	橙色 (淡緑～赤紫のグラデーション)	緑	鮮やかな濃いピンク色
芒の多少	無	中	中
長短	—	短	短
粒着密度	極密	やや密	やや疎
穎色	黄金	黄白	紫
ふ先色	紫	白	紫
脱粒性	難	難	難
耐倒伏性	強	中	強
穂発芽性	やや難	やや難	やや難
障害型耐冷性	極弱	やや強	極弱
いもち病抵抗性			
推定遺伝子型	+	<i>Pia, Pii</i>	<i>Pia</i>
葉いもち	やや弱	やや強	やや弱
穂いもち	不明	中 (やや強)	やや弱
千粒重 粳(g)	13.6	26.4	25.1
玄米(g)	12.4	22.3	20.7

(注) 1 いずれも標肥区 (N成分、0.6+0.2 kg/a) の結果である。

2 いもち病圃場抵抗性は、東北新基準 (平成14年3月制定) による判定。() 内は従来基準による判定。



写真1 生育初期

写真2 生育中期

写真3 成熟期

写真4 平成24年度田舎館村田んぼアート
(帯の部分などが「青系観177号」)